

演劇等の練習や公演会場に利用してみませんか？
ピアノ（別途料金）の練習も可能です。

【利用時間】 9:30 ~ 21:30 まで
(準備及び片付けの時間も含む)

【利用料金】 下記の表をご覧ください。
※税込、冷暖房費込、舞台スタッフ料は除く
下記の料金表は一部です。
詳しくは風のスタジオ HP をご覧ください。

【申込方法】 ご予約は電話・メール・窓口にてご予約できます。
予約後、速やかに申込書をご記入いただき、
利用料金をお支払ください。
風のスタジオで公演を含む 3 日間以上連続利用
するものは 1 年前から予約を受付けます。
それ以外は 3 か月前から受付けます。

【お問合せ】 風のスタジオ
TEL 019-604-9020
MAIL kaze@iwate-arts.jp

施設名	4 時間単位	1 日単位	1 週間単位
風のスタジオ	7,150 円	17,600 円	85,800 円
	<共通> 付帯設備費 ゲネプロ及び本番 1 回につき 4,400 円		
リハーサル室・風のアトリエ (ピアノ利用料込み)	2,200 円	5,500 円	26,400 円
風のスタジオの稽古使用時	2,860 円	7,700 円	44,000 円
風のアトリエ 本番使用時	4,400 円	12,100 円	55,000 円

※2024 年 1 月より価格改定しています。

【町家の日 2024】 2024.3/2-3/10

鉾屋町界隈
情報

毎年 3 月 8 日は「町家の日」。3 月は英語でマーチ (March)。3 月 8 日はマーチャで「町家の日」として、全国的に制定。その前後一週間を「町家 Week」として、2024 年の「町家の日」は京都・姫路・大津・盛岡・越後高田をはじめとした日本全国で町家を舞台にした様々なイベントが開催されます。

各地で趣向を凝らしたイベントが開催されます。
イベントは事前予約が必要なものから、当日ふらっと参加できるものまで。ぜひ、あなたのお近くの「町家の日」を楽しんでください。

町家の日普及実行委員会

■日時：2024 年 3 月 2 日 (土)~3 月 10 日 (日) の
“町家の日 (3 月 8 日)” を挟む 1 週間
詳細は『町家の日』公式ホームページよりご確認ください♪
<https://machiyanohi.jp/>



←町家の日
HP

【お問合せ先】
NPO 法人盛岡まち並み塾事務局 問合せ先 HP ↓
〒020-0827 盛岡市鉾屋町 3-15
「大慈清水御休み処」内
※大慈清水のすぐ近くです。



TEL 019-656-1603 営業時間：10 時~16 時 (水曜定休)

発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】 本部 HP
〒020-0874 盛岡市南大通 1 丁目 15-7 盛岡南大通ビル 3 階
TEL(019)656-8145 FAX(019)656-8146 ※土日及び祝日・年末年始休業
E-mail info@iwate-arts.jp URL https://iwate-arts.jp



【看町事務所・風のスタジオ】 風のスタジオ HP
〒020-0878 盛岡市看町 4-20 永卯ビル 3 階
TEL(019)604-9020 FAX(019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp URL https://kaze.iwate-arts.jp

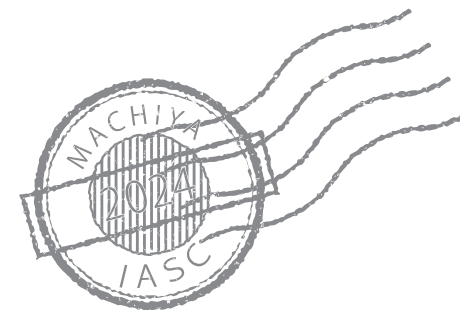


<窓口営業時間> 月~土 9:30~17:30
<施設利用可能時間> 9:30~21:30 ※日及び祝日・年末年始休業

【もりおか町家物語館】
〒020-0827 盛岡市鉾屋町 10-8
TEL(019)654-2911 FAX(019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp URL https://machiya.iwate-arts.jp
<開館時間> 9:00~19:00 (最終入場 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで
<大正蔵 1 階ショップ&カフェ営業時間> 10:00~17:00
<休館日> 毎月第 4 火曜 (祝日の場合はその翌日) 年末年始 12/29~1/3
<入館料> 無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

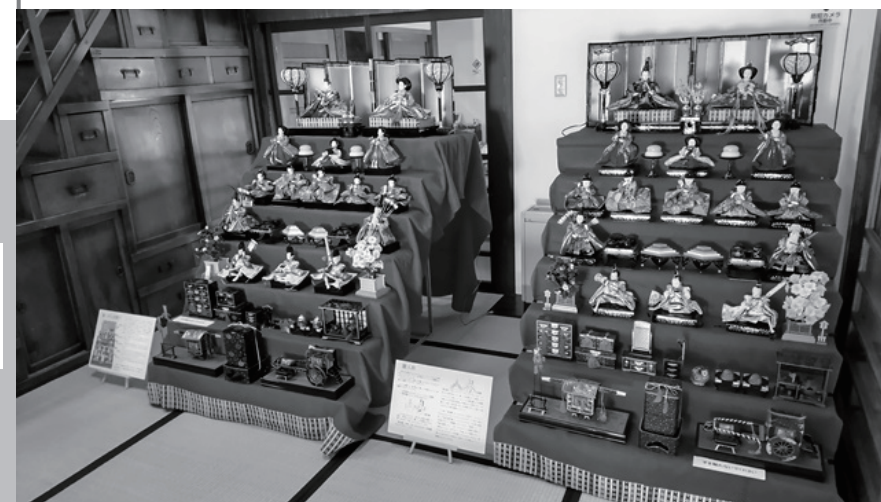


もりおか町家物語館 HP



3

もりおか町家・風の通信



<もりおか町家物語館>

旧暦の雛祭りにあわせて

雛人形を飾っています。

※写真は昨年のものです。



もりおか町家物語館

★3月26日(火)が休館日です★

【盛岡市所蔵美術品展】「春」

盛岡市所蔵の美術品の中から、春を表現した作品を展示しています。海野経、金子千恵子、澤田哲郎、橋本八百二、村井孤月の作品です。ぜひご高覧ください。

＜会期＞開催中～3/20(水・祝)
9:00～19:00(最終入場18:30)

＜会場＞大正蔵1階展示コーナー

岩手ゆかりの近代詩文書作品展

岩手ゆかりの近代文学者の詩歌等の一節を書にした公募作品を展示しています。

＜一般公募・招待作家作品展＞

展示期間：開催中～3月17日(日)

※最終日は16:00まで

展示場所：もりおか町家物語館

大正蔵2階「時空の展示室」

※招待作家作品として、盛岡市所蔵の佐藤氷峰の作品と、石川啄木記念館収蔵の金子鷗亭の作品も同時展示。

コミュニティスペース DOMA
展示情報

長内努彫刻展～夢みるミューズたち～

日時：3月1日(金)～24日(日)
9:00～19:00(最終入場18:30)



会場：もりおか町家物語館 母屋1階(※旧カフェDOMA)

※こちらで作品を展示することができます。詳しくは当館までお問合せください。

「大正蔵1階SHOP&CAFE」 ＜オススメ商品のご案内＞

だいず
今月ご紹介するのは、大豆き甘なっとう

3月豆といえばエンドウ豆をさす地域もありますが大正蔵からは「大豆」をお薦め。

控えめな甘さが、大豆そのものの美味しさを堪能できる逸品。

一休みに、お茶うけに。カロリー低めでつつい手が伸びるシンプルな和菓子です。

竹屋製菓 『大豆き甘なっとう』 486円(税込)

この他、ショップでは盛岡の工芸品や地酒、銘菓など、賑わいに溢れた品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。

営業時間：10:00～17:00



もりおか町家物語館 10周年記念イベント

3/2 ～語り継ぐ盛岡物語～

朗読劇「おかんの墓」

日時 | 3月2日(土)14:00開演
出演 | 江幡平三郎、高橋裕二、永井志穂、川島有貴
会場 | 浜藤ホール(定員80名)
入場料 | 1,500円(前売・当日共)

3/9 「服部吉次、ブギウギを歌う」 (ワイン付きライブ)

服部良一メロディを、次男・吉次さんが歌い、父や笠置シズ子の思い出も語ります
トークの相手は妻で女優の石井くに子さん

日時 | 3月9日(土)17:00開演
出演 | 服部吉次(劇団黒テント)
演奏 | 北島貞紀とSmile Cats
会場 | 浜藤ホール(定員80名)
入場料 | 前売2,800円(当日200円増)
*ワイン等ワンドリンク・軽食
およびワイングラス付き

3/16 いわて震災文化フォーラム

日時 | 3月16日(土)14:00開演
出演 | こども劇団みやこデイズー他
会場 | 浜藤ホール(定員60名)
入場無料・要予約

町家事業 REPORT

◆浜藤の酒蔵 ZINE マーケット

1月21日(日)浜藤ホールにて、ZINE(個人出版物)や自主制作本をメインとした当館初のZINEマーケットを開催しました。当日は14組のZINE出店者の他、さいとうゆきこさんによる〈本づくりワークショップ〉も開催。たくさんの方にご来場いただきました。

◆町家弦楽アンサンブル2023バイオリン発表会

バイオリン演奏に親しむ企画として10月より4ヶ月間行われてきた講座「町家弦楽アンサンブル」の成果発表会を1月27日(土)浜藤ホールにて行いました。76名の来場者を前に緊張気味の受講生たちでしたが、最後には大きな拍手をいただき、これまでの練習の成果を発揮した素晴らしい発表会となりました。

◆エニナルモリオカ

1月6日(土)～28日(日)に、盛岡をテーマにした絵画や写真の公募作品、39名59作品を展示しました。小学生から80代まで幅広い年代の方に出品していただき、ご来場のお客様にも、様々な盛岡を感じていただけました。たくさんのご来場ありがとうございました。

リレーコラム No.87

～語り継ぐ盛岡物語～ 朗読劇「おかんの墓」
上演にあたって

盛岡には不思議な伝説がいくつかありますが、城下町らしくお寺や南部の殿様にまつわる話が多いように思います。その中のひとつ『おかんの墓』。この由来を知ると盛岡城跡の石垣も今までと違って見えてくるかもしれません。

このお墓は九戸政実の重臣である畠山重勝の一人娘、畠山於感(おかん)のもの。九戸政実は、九戸城(現在の二戸市)を拠点に勢力を張っていましたが、南部一族の血筋ながら南部信直に叛(そむ)き、いわゆる「九戸政実の乱」で滅ぼされた武将です。この戦いで畠山重勝は家来の三平に於感をあずけて自刃。その後始まった盛岡城の築城の際、三平は人夫として働き始めますが崩れた大石に挟まれ両足を負傷し立つことができなくなってしまいます。生活に窮した於感は、自ら人夫として働き始めますが、気品ある於感に目をつけた職人頭の軍太に言い寄られるようになり、夫と子に危険が及ぶことを察し、あることを決断するのです…。

油町(現、本町通り一丁目)にある浄土宗大泉寺の三門脇に高さ90cmほどの古い梨割の墓石がありますが、この墓石を叩くと「かんかん」と石とは思えない不思議な音が響きます。なぜかひきつけられるその音が聞きたくて、私は幼い頃から墓詣りの際には必ずその墓石を叩き、手を合わせるのが習慣でした。たぶん大泉寺の檀家さんは、ほとんどの方が同じようにこの「おかんの墓」を大切に思っているに違いありません。

そして今回のこの「朗読劇」という上演形式ですが、シンプルな舞台と照明だけに頭の中で最後の一片が完成され、より心に響く気がいたします。しかも朗読に定評のある四名の方が引き受けてくださったことで臨場感が増すでしょう。

盛岡城跡には大きな残念石(転がり落ちた石は使わない)が今もそのままあります。この石はもしか三平の?と想像するのも朗読劇を観たあとの楽しみかもしれません。ぜひ次の休日に訪れてみませんか。

いわてアートサポートセンター朗読倶楽部副委員長
浄土宗亀通山大泉寺 教化部 東海林千秋